

内閣 国立白門会ニュース

第 17 号

国立市富士見台1-1-201

村田 亘 75-2020

印刷

真美巧芸 37-2536

国立白門会

創立十周年を回顧して

支部長 村田 亘



昭和五三年、中央大学が神田駿河台から多摩キャンパスに移転した時期と同じくして、国立白門会が創立され、十年の歳月が流れた。

国立白門会は独立して學員会三多摩支部国立分会となった。昭和五七年には支部に昇格した。今日では全国八三地域支部の中でも最も活動している支部の一つに数えられている。

会の運営は専ら会費により、特別の場合を除いては寄付金は徴収しない方針である。

会の活動の一端を述べると、国立市最大の行事「市民祭」には積極的に参加し、中央大学の特色を生かし、「法律、税務及び不動産」の無料相談

事業、厚生、組織の四部制を採用し、役員は必ず何かの部に所属し、部長が統轄し、夫々任務を遂行している。

会の運営は必ずしも順調にばかり行われたのではない。

国立市を中、東、西、北、富士見台、谷保の六地区に分け、役員が夫々分担して連絡員となり、国立白門会ニュースの配布と会費の徴収を行っていたが、その努力は大変なもので、余りにも負担が大きいの

たのは国立白門会を創立したときである。
「先輩、国立市に學員会を作って下さい」という閑喜一君(四三商卒)の一声で承諾したのはよいが、取り掛かって見ると大仕事であった。駿河台の學員会本部に行き二〇種位の厚さの學員会名簿を借りたが、この中から国立市在住學員を探し出すのが大変で、当時学生であった桂田良明君(五五商卒)達にアルバイトして貰い、拾い出した約五〇〇名の學員の中、半数は西多摩郡谷保村と国立町が占めている。国立市役所に行つて五十嵐力氏(學員・元建設部長)の協力で、谷保村………が現在、国立市の何処であるか探し出して貰い全學員に手紙を出した所、約二八〇名が現存することが判った。

學員に母校の近況と国立白門会の活動を知らせるため、「国立白門会ニュース」を年二回、學員名簿を三年に一回発行し、国立市在住の全學員約三〇〇名に配布している。

その他、母校多摩キャンパス見学会、勝沼のワイン工場見学とぶどう狩りなど、春秋二回の家族ぐるみの親睦旅行、新年会、納涼会、会長杯争奪囲碁大会、更に昨年はゴルフクラブができ、十数名が会長杯争奪ゴルフコンペを楽しんでいる。

このような行事を通じ、學員相互の親睦の輪は次第に広がっていった。

会の運営を統制のとれた活発なものにするため、広報、

昨年から国立市の春の名物行事「さくらフェスティバル」に実行委員として参加し、物品販売を行い、売上げ利益は会の運営資金に充当した。

これだけ多彩な行事を行う役員諸氏の努力は大変なもので、母校愛と相互の信頼、チームワークと情熱がなければ出来るものではない。

中央大学の名声を高め、国立白門会の存在を国立市民に最も認識させたのは「市民まつり」での「法律、税務、不動産」の無料相談であろう。

過去を顧みて、最も苦勞し



昭和58年5月15日 総会にて

原実氏の助言を得て、国立白門会設立準備会開催の案内状を出した所、約三〇名が国立会館に集まった。皆さんから色いろ意見が出て、会長に私が指名され、組織の在り方と役員は会長に一任された。動議が出され、設立準備会を創立総会とすることが決議され、昭和五三年五月二日に国立白門会が結成され、第一歩を踏み出すことになった。

知人から、以前国立町会議長をしておられた弁護士池田由太郎先生が中央大学出身であることを聴き、池田先生を訪ねて協力をお願いした。先生は「是非、學員会を作りなさい」と激励され、以来、国立駅前のご自宅と日本橋に在る池田法律事務所を再三訪ね、助言と物心両面のご協力を得たご恩は一生忘れることはできない。

現在、国立白門会は順調な歩みを続け、全国でも注目を浴びる支部となったが、その間の役員諸氏の努力と學員諸氏の協力に深く感謝している。

昭和六〇年には母校は創立百周年を迎え、世界に向けて飛躍を試みており、中央大学學員会も今年、創立百周年を迎え、記念式典と行事を行い、學員会の活性化を計画している。

国立白門会は若い層の血潮を導入し、時代に対応した発想の下に益々発展することを念願する次第である。

創立十周年によせて

学員会事務局長 阿部 輝男

中央大学学員会国立白門会創立十周年、お目出度うございます。心からお祝い申し上げます。

国立白門会は、昭和五十三年五月二十一日に設立総会を開催し、学員会三多摩支部国立分会として発足されたのであります。昭和五十三年、母校が駿河台から多摩に移転してから八王子支部が設立され、さらに隣接する立川支部が創立されたのをみて、国立白門会も、昭和五十七年五月二十八日に三多摩支部から独立して学員会国立支部として発展したのであります。

白門会として設立以来、年二回の会報の発行、新年会、見学会、囲碁大会及び近隣支部との交流等活動は華々しいものがあります。

特に、母校主催の学術講演会の後援及び法律・税務相談コーナーを設けての国立市民祭への参加は、学園都市の支部として相応しい活動であり、また、母校に対する社会的評価を高めたものとして、まことに同慶に堪えません。

このように、今日まで充実した支部活動をささえるためにご尽力された村田支部長を始め役員のご苦勞は並々なら

ぬものがあつたとご推察申し上げ深く敬意を表す次第であります。

ところで、母校は昭和六十年に創立百周年を迎え、これを記念するとともに、次の二世紀に向けて新たな発展を期するため具体的計画として、教育・研究条件の整備充実、学術研究の国際化を計るための国際交流センターの設置及び、その基金の設定等着々と実行を進め、また、学員との交流の緊密化のための一環ともなる中央大学駿河台記念館も本年十一月に竣工の予定と

のことであります。学員会も、その前身である英吉利法律学校校友会が明治

本学OB・時の人

国土庁長官後任には

内海 英男氏

日中戦争をめぐる一連の問題発言で物議をかもした奥野国土庁長官が辞任しました。

後任の国土庁長官には内海英男元建設相が決まりました。

内海氏は中央大学卒業、代議士秘書、文部・建設各政務

次官、党総務局長、衆院議院運営委員長、建設相を歴任。

宮城出身。66歳。竹下派。

ソウル五輪村村長は

金溶 植(キム・ヨンシク)氏

今年ソウルでオリンピックが開催されますが、五輪選手村村長に、本学OBの金溶植氏が決まりました。

金氏は一九四九年在香港領事を振り出しに駐日、仏公使、駐英、

米大使、外相を歴任。韓国外交史の生き字引的存在。中央

大学法学部卒。弁護士。74歳。内海、金二氏のご活躍を期待します。

国立白門会趣味の作品展

二十一年十月二十一日創立総会を開催し発足し、本年十月に創立百周年を迎えることになりました。これを機会に有意義な記念事業を行うべく、目下「学員会創立百周年記念行事実行委員会」を設けて検討中であります。

終わりに、創立十周年を契機として国立支部の益々のご発展と支部学員各位のご健勝を祈念いたします。

六月二四日(金)から二六日(日)まで、草舎ビル一階エソラ(東三ー七二七)

オーナーの関益雄氏のご好意により、場内を無料でお借りできました。この機会に日頃の成果を発表されたらいかげですか。ふるってご参加下さい。詳細は山崎まで、電話 七二一三九四八

創立十周年

国立白門会は、昭和53年5月21日に創立総会を開催してから、十周年を迎えました。

本年は十周年を記念しまして、下記の企画をしております。

1. 創立十周年記念式典
第11回通常総会と合わせて行います。功労者の表彰・講演等
2. 創立十周年史の発行
総会で配布予定
3. 記念・冠行事
今年催される各行事には十周年と銘打って、会から例年以上のバックアップがあり一味違ったものになります。

(注)10周年記念事業を円滑に行うために、実行委員会が設置されました。

昭和63年度 総会 及び 創立十周年記念式典のご案内

下記により第11回定時総会及び国立白門会創立十周年記念式典を開催いたします。

万障お繰り合わせのうえ、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

なお、会場等の都合上、同封のハガキを6月4日(土)までに必ずご返送方よろしくお願いたします。

記

1. 日時 6月12日(日) 午後2時までにご参集のこと
2. 場所 国立デパート2階 (国立商協ビル)
3. 懇親会費 3,000円
当日ご持参下さい



私の好きな言葉

平本 聖子

「愛」という言葉についていろいろと考えてみることにあります。この表現、あの思いの中から、どれか一つを、「愛」についてとりあげるとしますと、どうしても次の言葉に行き当たります。

「愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めずいらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。」

右の言葉通りに思い、行うことが「愛」であって、それ以外は「愛」でないということになりますと、溜息が出てしまいます。しかし、何時、何処で何度読んでも、私にとってこの言葉は気になります。

学会創立百周年記念事業

実行委員に村田支部長、他二名選任

学会会は、学会会創立百周年記念行事実行委員会を設置しました。同委員会の委員として、当支部から市橋千鶴子、村田亘、岡田忠臣（敬称略）の三名が選任されました。

委員会は、本年十月二一日に迎える学会会百周年を記念する行事と事業の具体案を策定し、その実施に関する事項

これは、パウロという人が、コリント教会の信徒に送った手紙として、新約聖書に書かれています。聖書とかお経とか「アヘンではないのか」などと言う人もいますが、この新約聖書に書かれている言葉は、「抹香臭い」でしょうか。「アヘン」でしょうか。

「愛は忍耐強い。愛は情け深い……いらだたず……」とありますが、いらだたないことが「愛」であるというのはい、たいへん大きな試練でもあり、慰めでもあると思えます。人と人との関わり合いにおいて、決していらだたない気持ちを持つという事は、極まりなくむずかしいことです。でも、もしそのような気持ちに触れることができたら底知れぬ安らぎにひたれるような気がします。青い空を見た時、キラキラ輝く星を見た時、理屈なしの感動は、そ

を審議して実行するものです。ご活躍を期待します。

尚、市橋さんは、中央大学の創立百周年記念事業の一環として、神田駿河台の大学会館跡地に建築中の中央大学駿河台記念館の管理運営について検討するための委員会の委員にも選任されました。

れなのかもしれません。

人間はそのまま「愛」につつまれているとも感じますが、自分の気持ちを研くことで、より多く「愛」に触れられ持続できるのではないかと思っています。

この様なことを考えさせてくれる「愛」についてのこれらの言葉が私は好きです。

一緒にプレーしませんか

〈白門ゴルフコンペ〉

高橋 雅幸

前号既報のとおり九月三日に国立白門会ゴルフコンペをはじめ開催してから既に三回目のコンペを四月二〇日に開催することができました。第二回目からは、村田亘支部長より寄贈頂いた優勝カップを支部長杯とし、組数を三組から四組に増やし、又第三回目には普段あまりお目にかかれぬ会員三名の参加もあり、回を重ねる毎に盛大になり、同門の輪も大きくなるようであり、大変うれしく思います。十一月十二日神奈川ccで第二回目のコンペを開催しました。当日は快晴無風の絶好の

公民館を利用しましょう

国立市には、富士見通りに公民館（中一―一五―三電〇四二五七二一五―四一）があります。公民館は多目的な社会教育活動の場になっていますから、そこを利用することによって、人と人との出会いやふれあい、また日頃遠ざかりがちな学習の深まりも得られます。そして私たちが願っている地域文化の創造

コンディション。参加者15名前回の多摩ccに比べ距離は短かいものの、やや起伏のある当コースで、左記のとおり、グロス77の立派な成績で中島順敬会員が見事ベスグロ優勝。尚前号で紹介されましたシン者は、27打もスコアを延ばし、センスの良いところを披露し本人も満足顔でした。

優勝	中島順敬	38	out	in	G N
準優勝	河並祐幸	45	53	98	78
三位	山田益男	43	41	84	74
B B	久保田利雄	76	73	149	95

名門青梅ccにて開催されました。芝もそろそろ緑に変わりを残し、この日も絶好のゴルフ日和でした。優勝は山川昌一会員の代打指名でゲスト出場した市役所勤務の河野道有氏。準優勝ベスグロスの関福男会員は出場者中最年長者とのこと。当コースでの午前中39は大変立派なゴルフでした。ブービー賞の丸本幹事長は早くも二度目のブービー賞受賞に輝き、この賞は同氏のや、素晴らしい地域づくりへの連帯も生まれてくることでしょう。

- ロビーでは色色なサークルの展示会が開かれています。
- 図書室には沢山の有益な書物があり、市内在住の勤者であればだれでも自由に借りられます。
- 喫茶コーナーでは香り高いコーヒーを飲みながらゆとりのおつきをすごせます。



第3回白門コンペ青梅ゴルフ倶楽部にて

指定席のような感も……。前回久々のゴルフで調子の出なかつた金子泰久会員は、どこかで練習を重ねたのか往年(?)の感を取り戻し100を切り、しかもニアピン賞を獲得する活躍でした。

次回の開催は国立白門会の十周年を記念しまして十一月頃の賞品を用意して十一月頃に予定しております。ゴルフは若者男女を問わず皆一緒に競技でき、白門会員の懇親を深めるには最適のスポーツです。ぜひ多くの会員の参加をお待ちしております。

連絡先 七二―五七九五
厚生部 高橋雅幸

秋・身延路から勝沼へ

能味 寿哉

十月二十四日(土)、午前九時半頃、笛吹川を渡り三珠町へ入ったレンタバスの中では、婦人方のカラオケが続くにぎやかさで、道の両側のカキは色づいて実りたわわだった。和紙の町、市川大門町を経て富士川の清流沿いに身延路を南下した一行は五十分後、身延山の古い歴史を物語る山門をくぐっていた。この朝七時四十分村田会長のお見送りを受けて出発したわが白門会主催の秋の行楽は、風間副幹事長の巧みな司会と山崎厚生部長の名ガイドで順調に走ってきたが、久保田会長からの寄付もあって皆さんの参加費用を格安にあげられたというのは幸せだった。丸本幹事長からは、今回も愛車で随伴してくれている関厚生副部長の多大な後援について感謝の一言があった。身延山では二年前落慶をみた新本堂から、立派な楼閣を順次拝礼参観し、日蓮大聖人のご尊像のある広い客殿でおいしいお茶を頂いた。山崎夫人のお友達や会員夫人の方々からお菓子・果物と沢山ふるまわれたり、またオニギリもという訳で小休止の一刻が快かった。

参詣後、筆者の友人が経営する門前町の山田屋旅館で香

い高いコーヒーを、実は期待していたのだが、祝い事で不在のため皆さんにおすすめできなかつたのは残念であった。午前十一時五十分、復路についた二十一人乗りバスは富士川の鉄橋を越え、沿道の秋色の中一時間後、甲府南ICに着いた。そしてわずか一五分で中央高速から勝沼へ下りていく。懐しいブドウ園の眺めが気持ち豊かにしてくる。一行は川口園でパーベキューの食事に舌鼓を打ったが、赤・白・ロゼの地酒のほか関氏さし入れの高級フランスワインの風味にも酔い心地だった。バスは小雨降りくる中有名

初春を寿ぐ!! 恒例の新年顔合わせ

一月二十三日(土)、戊辰という昭和に入って二巡りめの干支を祝って、馴染みの、「信濃路」に二十五名が集まった。谷市長は公用のため、残念ながらお見えいただけなかったが、中西先生、市橋・酒井両顧問は出席されて、元氣なお顔をお見せ下さった。

第一部は、午後五時五十分山崎厚生部長の司会でスタートし、井上副会長のご挨拶、そして、村田会長からは、「今年国立白門会創立十周年の記念すべき年です。母校も学会も注目しているので、皆様よろしくお願います。」とのお話があり、市橋先生

な宮先園へ回り、毎年の顔を利かしてブドウの試食もたっぷりでき、お土産の籠もサービスしてもらえたようだ。欄間を飾る色紙や記念写真の名士の名も湯川秀樹・神近市子・池田勇人・久原房之助といった人々に改めて驚嘆させられた。

午後三時四十分、関氏の車に山崎夫人と家内も乗せて頂いて、帰路のバスは、五時一五分矢川着まで一段とカラオケムードにはずんでいた。

(注)当初予定された十月十七日(土)は、台風一九号のため延期となっていた。

のご祝辞の中に、「国立白門会は人材にこと欠かない」とのうれしいお言葉があった。中西先生の音頭で乾杯。作家の志茂田景樹氏からは思わぬコメントのご披露があり、座の緊張がほぐれた。岡田画伯、酒井先生からも、心温まるお言葉を頂き、自己紹介に移った。第二部は、小林厚生副部長の司会で、楽しい雰囲気の中で始まった。いつもの様に芸達者な先輩の方々が、マイクを握りしめて熱唱され、拍手喝采が起った。和気あいの歓談のうちに時が過ぎ、丸本幹事長の閉会の辞と山崎厚生部長の三本締めの後、全員が輪になり肩を組んで校歌を斉唱し、同門の絆を確かめ合った。

さくら フェスティバル 盛況

平本 聖子

四月十日(日)、第十一回「さくらフェスティバル」は快晴微風の谷保第三公園で開かれた。朝方、井上・福谷両副会長に、金子氏もいらして下さったが、「日高昆布」の販売スタッフは久保田・堀田・風間・小林の各氏に、紅一点の平本が加わり、丸本幹事長の応援もあった。十時半には、能味氏も駆け付けて下さり、売り込みの意気が上がった。満開にはまだ早い桜だったが、人出は大変多く、正午

第11回 さくらフェスティバル 思い出のスナップ



過ぎには、昆布を完売した。仕入れのお世話をいただいた久保田氏も笑顔いっぱいだった。また、高橋氏や、市役所の山川氏もサポートして下さい、立川支部の矢島氏も参加下さるにぎわいだった。

土地・家

アパート・マンション
貸家・仲介・管理
売 買・仲 介

売買の事・建築・法律・税金の事等無料で
ご相談いたします。お電話でも結構です。

(学員特に優遇)

(有)久保田商事

代表取締役 久保田 利 雄
国立市西 2-20-10
(富士見通り音高前)
TEL (0425) 75-2244 代



スコッチ&チョコレート

国立市中 1-9-30

各部長抱負を語る!!

組織部 — 本会の礎に —



小島 泰義

昭和五三年国立白門会が誕生し、はや十周年を迎えることとなりました。
設立当初は会員の消息の把握が困難な状況下、四苦八苦しながら不備ではありましたが

厚生部 — 長期的展望に立ち —



山崎 武

今年「竜」年である。竜が天を駆け巡るように、躍動する年である。
時恰も、国立白門会は創立

十周年の節目の年でもあり、一段と躍進すべき年である。
創立当時は組織も脆弱であり、活動も活発とは言い切れなかった。だが近年の厚生部の活動を振り返ると、新年会、各事業所や名所古蹟の見学会、納涼会、秋の家族ぐるみの旅行、囲碁会、ゴルフコンペの実施、また事業部等の市民ま

が第一号の名簿を作成したことが、きのうのように思い出されます。

これが基礎となり現在では、規約、規定類も整備され、運営も安定してきていると思われま

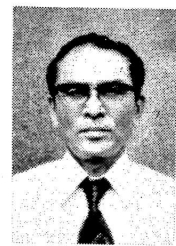
す。
組織は本会活動の基礎となるものでありますので、設立十周年を機にさらに充実・強化を図り、本会がさらに大きく飛躍するよう努力をしてまいります。

ご協力をお願いいたします。
つり・桜まつりの準備設営に協力講演会の開催等、活動は活発化していると思う。だが、活動が活発になると、予算の方も多くなってくる。これに会費のみで賄うことは困難である。

そこで、市民まつりや桜まつりのバザー出店の際、より多くの出品を図る。新規会員の入会による会費の増収。篤志会員からの寄付。等々、財源確保のため検討をしていきたい。

これ迄の活動は軌道に乗り、定着してきたが、本年の課題はこれを基盤として、収支の合理化を図りながら厚生部員一致協力し、皆様方のご援助を得て、さらなる躍進を続け、「質と量」の向上に努力する所存である。

事業部 — 地域交流を活発に —



山村 鶴音

国立白門会に事業部が発足して以来、事業部としては次の事を熱意行つて参りました。
一、講演会

私達の社会生活・文化等の向上の為、母校教授の方々や母校出身の志茂田景樹氏による講演を、他団体等と協賛の上二回実施して参りました。
又、母校出身の岡田忠臣画伯の絵画展を後援して参りました。

二、あれこれ考える会
地域社会の発展に寄与する事を目的にこの「く」にたち」と、そして一般社会の事を色々考えてみよう、この会を発足しました。国立市政の現状、教育・放置自転車・街の諸々の問題について語り合つて一五回実施してきました。

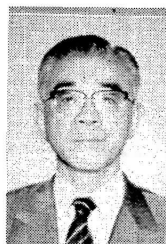
三、市民まつりへ参加
国立市恒例の市民まつりへ参加し、法律・税務・不動産の無料相談。会員による不用品のバザーを行なってきました。昨年で六年になりましたが、多くの市民に喜ばれ、祭を盛り上げてきたと、自負しております。

四、桜まつりに参加

毎年春に富士見台のさくら通りで行なわれているさくら祭に、不用品のバザーで参加今年でまだ二回目ですが、市民まつり同様好評を得ています。

私達は誉れ高い中央大学の卒業生である事を自覚し、上記の活動を通して地域社会のより発展とより豊かさを求め、また他の有意義団体と交流を大いに計りながら前進して行きたいと思ひます。

広報部 — 感じる紙面作りを —



能味 寿哉

広報部の現状を振り返ってみるとき、やはりまだまだ変わらねばならないように思う。

その一つは、国立市という地域社会の学員に対して、そのニーズに応えているかどうか。故池田由太郎先生が大変な努力をされ心血をそそいで初めて広く一般に認められた文教都市国立の歴史は格別に重く感じられるが、そこに住むことを誇りとしている学員が三百名をこえるということ。

これは決して小さな数字ではない。残念ながら、毎年定時総会へ出てくる学員は、ほんの一割強にしか過ぎないという現実を踏まえて、せひ「国立

立白門会ニュース」が皆さんの気持ちにアピールして、出席者の数値をあげるときこそ、即活性化の第一歩につながるものだと思う。

第二点は、そのための紙面の刷新と充実を図らねばならないこと。広報部の活動は、各部と密接な関係を持ち表裏の立ち場にあるから、各部活動が積極的に前向きに営まれるときは、自ら広報活動もその色合いを濃くすることになる。新しい魅力ある紙面作りは、やはり企画発想のフレキシブルな若い諸君の豊かな才能に帰するところが大きいと思う、また志ある若手学員諸君の自発的登壇を切に望んでいる次第である。

会費納入のお願い

年会費は白門会ニュースや名簿作成などの財源ですので、同封の郵便振替用紙で納入をお願いします。又、総会当日ご持参します。

年会費 2,000円

昭和63年度 国立白門会予算案 自 昭和63年4月1日 至 昭和64年3月31日

Table with 3 columns: 科目, 摘要, 金額. Rows include 収入の部 (年会費, 学員会交付金, etc.) and 支出の部 (印刷費, 通信費, etc.). Total income: 1,134,424. Total expenditure: 1,134,424.

昭和62年度 国立白門会決算書 自 昭和62年4月1日 至 昭和63年3月31日

Table with 6 columns: 収入の部 (科目, 決算, 予算) and 支出の部 (科目, 決算, 予算). Rows include 年会費, 学員会交付金, etc. Total income: 1,200,767. Total expenditure: 1,200,767.

会計監査 堀田 勲 〃 安戸 勇之 〃 二宮 巍

六二年度活動報告

組織部

組織部は本会規約第一条の目的遂行に向け、各部活動の基礎資料となるよう会員の消息等の把握などに重点を置き活動した。

事業部

- 一、会員の消息、新卒業者及び在学生の把握
二、会員名簿再編成の準備
三、国立白門会表彰規定(案)
一、あれこれ考える会
二、市民まつりに参加
三、桜まつりに参加

厚生部

- 一、青梅鉄道公園散策、郷土館見学。五月二十四日(日)
二、納涼会。七月一八日(土)
三、身延山参拝・ぶどう狩り。十月二四日(土)
四、市民まつりに協力
五、新年会。一月二三日(土)

六、十一月に第四回ゴルフコンペ、また囲碁会も予定していますので、是非参加して下さい。
広報部
一、白門会ニュース第一五・一六号の発行。
二、記事取材(桜まつり、親睦会等)

三、学員時報への投稿(白門会ニュースの役割)

六三年度活動予定

組織部

白門会発足十周年に向け、組織の充実を図る。
一、十周年記念会員名簿の作成。
二、会員の消息、新卒業者及び在学生の把握
三、各種規定の整備
四、白門会組織充実に関すること。

事業部

本年度はより積極的に他団体とも交流を計り、願わくば
一、白門会ニュース第一七・一八号の発行。
二、記事取材。
三、学員時報への投稿。

講演会の開催をいたしたく、またあれこれ考える会も更に拡大し他団体とも意見の交流を企画していきたい。
一、あれこれ考える会開催
二、市民まつりに参加
三、桜まつりに参加

厚生部

- 一、納涼会(於一水園) 七月一六日(土)
二、秋の偕楽園・西山荘 十月二二日(土)
三、新年会(於信濃路予定) S六四年一月二一日(土)
一、白門会ニュース第一七・一八号の発行。
二、記事取材。
三、学員時報への投稿。

母校のデータあれこれ!?

Table with 4 columns: 年度, 司法試験合格者数, 公認会計士2次試験合格者数, 弁理士試験合格者数, 公務員上級試験合格者数, 地元高校からの中央大学合格者数, 国立高校, 桐朋学園高校. Rows for years 53-63.